平成20年度大垣市まちづくり市民活動育成支援推進委員会第4回会議 議事録

平成 21 年 3 月 23 日、平成 20 年度大垣市まちづくり市民活動育成支援推進委員会第 4 回会議を大垣市まちづくり市民活動支援センター1 階会議室において開いた。

○議題

⑴　平成21年度大垣市市民活動助成について
⑵　市民と行政の協働のまちづくりについて
⑶　特定非営利活動法人（ＮＰＯ法人）について
⑷　かがやきライフタウン構想について
⑸　大垣市まちづくり市民活動支援センターについて
　　（ＮＰＯ法人大垣まちづくり市民活動支援会議との意見交換）
⑹　その他

○委員の出欠

出席委員（敬称略）

委員長	鈴木　誠	副委員長	髙屋心子
委員	大西ひさ子	委員	阪本智子
委員	髙岡ミネ	委員	服部昭彦

欠席委員（敬称略）

委員	加藤有子	委員	佐藤真紀
委員	山岡泰利		

○ＮＰＯ法人大垣まちづくり市民活動支援会議出席者（敬称略）

副理事長	坂　忠男	副理事長	溝口隆司
事務局長	田中禎一（委員）		
理事	山田祥子	理事	佐藤有美

○事務局出席者

市民活動推進課長	吉田　健
市民活動推進課課長補佐	加藤　誠
市民活動推進課主任	神田孝行

午後7時　開会

加藤補佐

みなさん、こんばんは。

本日は、大変、お忙しいところ、平成20年度大垣市まちづくり市民活動育成支援推進委員会第4回会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

私、本日の司会を務めさせていただきます、大垣市市民活動推進課の加藤でございます。よろしくお願いいたします。

本日、私どもの宇佐見部長は、公務が重なりましたので、欠席させていただいております。

また、加藤委員さん、佐藤委員さん、山岡委員さんからご欠席の連絡をいただいておりますので、ご報告いたします。

本日は、議題にありますとおり、まちづくり市民活動支援センターについての意見交換ということで、支援センターの指定管理者であります、大垣まちづくり市民活動支援会議の皆様方にもご出席いただいております。ありがとうございます。

それでは、はじめに、鈴木委員長さんより、ごあいさつをお願いいたします。

鈴木委員長

みなさん、こんばんは。

本委員会は、昨年11月に第3回会議を開催し、まちづくり市民活動支援センターの指定管理者であります、ＮＰＯ法人大垣まちづくり市民活動支援会議の皆さんと意見交換を行っていただきました。

本日の会議では、前回出されました、支援センターの課題等について、再度、支援会議の皆さんと意見交換を行いたいと存じます。

また、この間、事務局で進められました、市民と行政の協働のまちづくりに関する各種調査の報告等もいただきたいと存じます。

限られた時間ですが、忌憚のないご意見をいただければと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

加藤補佐

ありがとうございました。

それでは、以後の進行については、鈴木委員長さんにお願いいたします。

鈴木委員長

はじめに、本日の議事録署名者を決めたいと思います。

大西委員さん、お願いできますか。

大西委員

はい。

鈴木委員長

それでは、よろしくお願いします。

では、議題1の「平成21年度大垣市市民活動助成について」、事務局から説明をお願

いします。

（吉田市民活動推進課長が次の資料を説明）

資料№１－平成21年度大垣市市民活動助成の募集について

別添資料－平成21年度大垣市市民活動助成の募集パンフレット

鈴木委員長

ただいま、資料のご説明をいただきましたが、これにつきまして、ご意見やご質問があればお願いいたします。

服部委員

市民活動助成の募集チラシは初めて見ましたが、どのように周知していく予定ですか。

加藤補佐

広報おおがき4月1日号に記事を掲載し、市ホームページでは様式や記入例も掲載する予定です。また、市の窓口やまちづくり市民活動支援センターでもチラシなどを配布します。

鈴木委員長

その他、よろしいでしょうか。

では、議題2の「市民と行政の協働のまちづくりについて」、事務局から説明をお願いします。

（吉田市民活動推進課長が次の資料を説明）

資料№２－市民と行政の協働のまちづくり指針（仮称）の策定について（案）

資料№３－市民活動に関する市民アンケート調査結果の概要について

資料№４－市民と行政の協働に関する市民活動団体アンケート調査結果の概要について

資料№５－市民と行政の協働に関する職員アンケート調査結果の概要について

資料№６－全国都市市民と行政の協働に関する取組状況調査結果一覧

資料№７－平成19年度市民と行政の協働事業実施状況調査結果の概要について

資料№８－市民と行政の協働に関する市民ワークショップの開催について

別添資料－市民活動に関する市民アンケート調査報告書

別添資料－市民と行政の協働に関する市民活動団体アンケート調査報告書

別添資料－市民と行政の協働に関する職員アンケート調査報告書

別添資料－平成19年度市民と行政の協働事業実施状況調査結果一覧

別添資料－市民と行政の協働に関する市民ワークショップの参加者募集パンフレット

鈴木委員長

ただいま、資料のご説明をいただきましたが、これにつきまして、ご意見やご質問があればお願いいたします。

（発言なし）

鈴木委員長

今回の調査は、市民と行政の協働のまちづくり指針を策定するための予備調査ということになります。よろしいでしょうか。

では、議題3の「特定非営利活動法人（ＮＰＯ法人）について」、事務局から説明をお願いします。

（吉田市民活動推進課長が次の資料を説明）

資料№９－特定非営利活動法人（ＮＰＯ法人）について

資料№10－特定非営利活動法人（ＮＰＯ法人）数一覧

資料№11－大垣市内の特定非営利活動法人（ＮＰＯ法人）一覧

別添資料－特定非営利活動法人（ＮＰＯ法人）の窓口案内パンフレット

鈴木委員長

ただいま、資料のご説明をいただきましたが、これにつきまして、ご意見やご質問があればお願いいたします。

（発言なし）

鈴木委員長

よろしいでしょうか。

では、議題4の「かがやきライフタウン構想について」、事務局から説明をお願いします。

（吉田市民活動推進課長が次の資料を説明）

資料№12－大垣市かがやきライフタウン推進本部設置要綱

資料№13－かがやきライフタウン大垣推進協議会について（案）

資料№14－平成21年度かがやきライフタウン大垣推進協議会事業計画（案）

別添資料－平成21年度かがやきライフ構想の推進について（案）

鈴木委員長

ただいま、資料のご説明をいただきましたが、これにつきまして、ご意見やご質問

があればお願いいたします。

（発言なし）

鈴木委員長

よろしいでしょうか。

では、議題5の「大垣市まちづくり市民活動支援センターについて」、支援会議から提出されました資料につきまして、説明をお願いします。

（田中事務局長が資料を説明）

田中事務局長

平成20年度決算と平成21年度予算に関する資料を配布させていただきました。主な収入は、委託料となります。具体的には、支援センターの指定管理業務、かがやきサイトの管理運営、かがやきライフタウンフェスティバルの企画運営、赤坂まちづくり楽校の企画運営などとなっています。こうした様々な事業を通じて、市民活動団体へのサポートや市民活動を始めてみたい方への情報提供などを行っています。

鈴木委員長

各事業の概要について、ご説明いただけますか。

坂副理事長

支援センターの指定管理業務は、ここのセンターの管理運営ですが、人件費と光熱水費が支出の大部分を占めています。かがやきサイトの管理運営は、市民活動情報を発信するために市が開設した、かがやきサイトの管理運営や登録団体に対するサポートが主な業務となっています。かかがやきライフタウン大垣2008の企画運営は、市民活動団体のフェスティバルとして11月に大垣城ホールで開催した、かがやきライフタウン大垣2008におけるパネル展示やスタンプラリーの企画運営などで、以上3事業については、市民活動推進課からの委託です。

また、市の都市計画課からの委託業務である赤坂まちづくり楽校の企画運営は、赤坂地区におけるまちづくりに関する人材育成を図る事業で、ワークショップやフィールドワークなどを実施しました。

服部委員

平成20年度単独で見れば、赤字のようですが、運営は大丈夫でしょうか。

田中事務局長

決算に未払い消費税が計上されていますが、現在減免の申請を行っており、認められれば赤字ではなくなります。

鈴木委員長

センターの指定管理のシフトは、どのようになっていますか。

田中事務局長

計7人のメンバーでシフトを組んでいます。原則4時間ずつの交代で、できる限り2人体制で対応しています。

加藤補佐

市からの依頼ですが、現在の指定管理業務は平成21年度までとなり、来年度は次期の指定管理者の公募を行います。多くの方に利用していただけるよう、センターの管理運営体制をさらに充実した内容にできるよう検討いただければと思います。

鈴木委員長

センターの利用者数や登録団体数は、どのように推移していますか。

加藤補佐

センターの年間利用者数は、約13,000人になる予定で、微増となっています。また、市の登録団体数も増えていますが、それがセンターの利用者増には結びついていません。

溝口副理事長

内容の充実をということですが、どの部分を充実させればよいでしょうか。

加藤補佐

これから活動を始めたい方々を対象にした入門講座、助成金など申請のポイントや書き方をアドバイスする講座、ＮＰＯ法人へのステップアップを目指す講座など、段階に合わせた講座を開催することにより、利用者が増え、団体の支援にもつながるのではないでしょうか。

坂副理事長

指定管理の申請の際に、上級、中級、初級の講座を開催する事業計画を提出しましたが、協働コーディネーター養成講座やまちづくり楽校など、上級者や中級者に対する講座は実施していますが、初級の講座は弱いかもしれません。

鈴木委員長

合併した上石津、墨俣の団体に対するアプローチやアドバイスも必要だと思います。

それでは、他にご意見もないようですので、次に、次第の5、「その他」ですが、全体を通じて、何かございましたら、ご発言をお願いいたします。

髙屋副委員長

本日の会議資料は全て目を通しましたが、市民も市職員も、市民活動、ＮＰＯ、ボランティアの認識があいまいになっていると思います。広報などで特集を掲載し、市民の理解を深めることが重要ではないかと感じています。

鈴木委員長

本学も地域連携センターとしてのスペースを確保し、学生との協働、地域との連携

を強化していく予定ですので、微力ながら貢献していきたいと思います。

特に、ご発言もないようですので、これをもちまして、議事を終了させていただきます。

加藤補佐

これをもちまして、平成20年度大垣市まちづくり市民活動育成支援推進委員会の第4回会議を終了させていただきます。

なお、次回の会議でございますが、お手元の案内文書のとおり、来月26日、日曜日の午前9時半から開催させていただきますので、よろしくお願いいたします。

本日は、ご出席賜り、誠にありがとうございました。

午後8時00分　閉会

以上、会議の次第を記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

委員長

委　員